

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-イ	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	
施策	①生活環境基盤の整備		
(施策の小項目)	○電力の安定的かつ適正な供給の確保		
主な取組	○海底ケーブル新設・更新事業	実施計画 記載頁	321
対応する 主な課題	○小規模離島自治体の財政基盤は脆弱な上、水道事業や廃棄物処理など広域的な対応が困難なことから高コスト構造とならざるを得ない。また、人口規模や経済規模が小さいことから医療、福祉、電力、水道、情報通信などのサービスが十分に受けられない又は割高となるなど、本島との格差は依然として課題となっている。		

1 取組の概要(Plan)

取組内容	離島における電力の安定的かつ適切な供給を確保するため、海底ケーブルの新設・更新に対する補助を行い、離島の安定した生活の確保や、観光等の振興及び低炭素島しょ社会の実現を図る。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
			備瀬崎～伊江島 瀬底島～水納島	沖繩本島～渡嘉敷島 西表島～鳩間島	渡嘉敷島～座間味島～阿嘉島 西表島(白浜)～内離島	→	電力事業者
	離島へ電力を供給する海底ケーブルの新設・更新						
担当部課	商工労働部 産業政策課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成28年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
—	0	0	平成28年度において、備瀬崎～伊江島間の海底ケーブルが設置された。	—
活動指標名			計画値	実績値
-			-	-
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成28年度取組の効果			
順調	電気事業者と、新設・更新箇所の優先順位について協議を継続している。平成28年度においては、備瀬崎～伊江島間において、海底ケーブルが設置された。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成29年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
—	0	引き続き電気事業者と連携を図りながら、海底ケーブルの更新・新設の促進を図る。	—

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成28年度の取組改善案	反映状況
①離島における電力の安定的かつ適切な供給を確保するため、経年劣化した海底ケーブルの更新や新たな海底ケーブルの設置を促進する。	①小規模離島電力安定供給支援事業を実施するなど新たな海底ケーブルの設置を促進した。
②海底ケーブルの円滑な新設・更新を実施するため、電気事業者の年度別計画や台風など気象条件等への対応、工期の見直しに適切に対応する。	②事業の進捗について適宜確認を行うなど円滑な事業実施を行うことができた。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
送電用海底ケーブル新設・更新箇所数	0箇所 (23年)	3箇所 (28年)	5箇所	3箇所	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
送電用海底ケーブル新設・更新箇所数	1箇所 (26年)	1箇所 (27年)	1箇所 (28年)	↗	—
状況説明	電気事業者による送電用海底ケーブルの新設・更新計画を踏まえ、電気事業者と連携して取り組んでいる。引き続き電気事業者と連携を図りながら、海底ケーブルの更新・新設の促進を図る。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p><u>○内部要因</u></p>
<p><u>○外部環境の変化</u></p> <p>離島における電力の安定的かつ適切な供給を確保するため、計画的な海底ケーブルの新設・更新については以下の点に留意する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海底ケーブルの新設・更新の作業スケジュールは電気事業者との調整が必要であることから、当初設定した計画との乖離が発生する可能性がある。 ・海上でのケーブル敷設作業も予定していることから気象条件等により工期に影響が生ずる可能性がある。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<ul style="list-style-type: none"> ・電気事業者との調整の結果、年度別計画の大幅な見直しがある場合、変更による影響が最低限に留まるように工期、行程等を見直しながら、海底ケーブルの新設・更新の促進を図る。 ・気象条件等により工期が延長するといった短期的な計画の変更の際は電気事業者に進捗管理用の工程スケジュールを作成させ、事業進捗を適宜管理することが必要である。

4 取組の改善案(Action)

<ul style="list-style-type: none"> ・離島における電力の安定的かつ適切な供給を確保するため、経年劣化した海底ケーブルの更新や新たな海底ケーブルの設置を促進する。 ・海底ケーブルの円滑な新設・更新を実施するため、電気事業者の年度別計画や台風など気象条件等への対応、工期の見直しに適切に対応する。
